【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】令和4年1月14日(2022.1.14)

【公開番号】特開2019-128594(P2019-128594A)
【公開日】令和1年8月1日(2019.8.1)
【年通号数】公開・登録公報2019-031
【出願番号】特願2019-2422(P2019-2422)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｇ 15/20(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｇ 15/20 ５１０

【手続補正書】
【提出日】令和4年1月5日(2022.1.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
複写用紙上に画像を印刷するように適合されたゼログラフィデバイスであって、
処理方向に進む前記複写用紙上に画像を処理し、記録するための画像化装置と、
前記画像を現像するための画像現像装置と、
前記画像を前記複写用紙上に転写する転写デバイスと、
前記複写用紙上に前記画像を定着させるための定着器であって、前記定着器が、間にニップを形成する定着器ロールおよび加圧ロールを含み、それを通って、前記複写用紙が搬送されて、前記画像を前記複写用紙上に永久に定着させる、定着器と、
前記定着器ロールの内面から離間して対向する放射加熱器であって、前記内面を直接加熱して、前記放射加熱器によって加熱された前記内面とは反対側の前記定着器ロールの外面の温度を上昇させるために、前記定着器ロールの前記内面上に放射熱を放出するように適合されている、放射加熱器と、
基材に結合され、前記放出された放射熱と相互作用するように位置決めされたテクスチャ領域であって、前記放出された放射熱の一部のある角度での反射を容易にするようにサイズ決定され、位置決めされた表面フィーチャを含む、テクスチャ領域と、
前記テクスチャ領域と前記定着器ロールの前記外面との間に位置決めされた透過開口部を有するマスク領域であって、入射放射熱が前記テクスチャ領域に接触する前に前記透過開口部を通過するように位置決めされている、マスク領域と、を備える、ゼログラフィデバイス。
【請求項２】
前記放射加熱器が、放射熱を放出するように動作する少なくとも１つの光源を備える、請求項１に記載のゼログラフィデバイス。
【請求項３】
前記テクスチャ領域および前記マスク領域が、光軸に沿って互いに関して重なる関係間を移動するとき、前記表面フィーチャが、前記マスク領域内の前記透過開口部を通じて視認可能である、請求項２に記載のゼログラフィデバイス。
【請求項４】
前記重なる関係において、前記放射熱が、前記マスク領域内の前記透過開口部を通ってある角度で反射されて戻ることになる、請求項３に記載のゼログラフィデバイス。

【請求項５】
前記少なくとも１つの光源が、ＵＶランプ、キセノンランプ、ハロゲンランプ、レーザアレイ、発光ダイオードアレイ、および有機発光ダイオードアレイのうちの１つ以上を含む、請求項４に記載のゼログラフィデバイス。
【請求項６】
前記表面フィーチャが、傾斜した、ピラミッド状、逆ピラミッド状、球状、正方形、長方形、三角形、放物線状、楕円体、非対称、対称、円錐、逆柱、逆円錐、マイクロレンズ、およびそれらの組み合わせからなる群から選択される部材を含む、請求項３に記載のゼログラフィデバイス。
【請求項７】
前記テクスチャ領域および前記マスク領域が、閉位置に移動するとき、前記表面フィーチャが、前記マスク領域内の前記透過開口部を通して視認可能ではなく、前記閉位置が、光軸に沿って互いに関して重ならない関係に対応する、請求項２に記載のゼログラフィデバイス。
【請求項８】
前記閉位置において、前記放射熱が、前記マスク領域内の前記透過開口部を通じて真っ直ぐに反射されて戻ることになる、請求項７に記載のゼログラフィデバイス。
【請求項９】
前記放出された放射熱が、赤外線電磁放射であり、画像を前記複写用紙上に印刷する前に、前記マスク領域が、前記定着器ロール上に真っ直ぐ反射して戻る初期位置にある、請求項２に記載のゼログラフィデバイス。
【請求項１０】
前記複写用紙上に画像を印刷する間、前記マスク領域は、それが前記定着器ロールを通過する際、前記複写用紙上に前記赤外線電磁放射線を集中させる別の位置にある、請求項９に記載のゼログラフィデバイス。
【請求項１１】
複写用紙を処理するのに有用な装置であって、
内面および外面を画定する定着器ロールと、
前記定着器ロールの前記内面から離間して対向する放射加熱器であって、前記内面を直接加熱して、前記放射加熱器によって加熱された前記内面とは反対側の前記定着器ロールの前記外面の温度を上昇させるために、前記定着器ロールの前記内面上に放射熱を放出するように適合されている、放射加熱器と、
基材に結合され、前記放出された放射熱と相互作用するように位置決めされたテクスチャ領域であって、前記放出された放射熱の一部のある角度での反射を容易にするようにサイズ決定され、位置決めされた表面フィーチャを含む、テクスチャ領域と、
前記テクスチャ領域と前記定着器ロールの前記外面との間に位置決めされた透過開口部を有するマスク領域であって、入射放射熱が前記テクスチャ領域に接触する前に前記透過開口部を通過するように位置決めされている、マスク領域と、を備える、ゼログラフィデバイス。
【請求項１２】
前記放射加熱器が、放射熱を放出するように動作する少なくとも１つの光源を備える、請求項１１に記載の装置。
【請求項１３】
前記テクスチャ領域および前記マスク領域が、光軸に沿って互いに関して重なる関係間を移動するとき、前記表面フィーチャが、前記マスク領域内の前記透過開口部を通じて視認可能である、請求項１２に記載の装置。
【請求項１４】
前記重なる関係において、前記放射熱が、前記マスク領域内の前記透過開口部を通ってある角度で反射されて戻ることになる、請求項１３に記載の装置。
【請求項１５】

前記少なくとも１つの光源が、ＵＶランプ、キセノンランプ、ハロゲンランプ、レーザアレイ、発光ダイオードアレイ、および有機発光ダイオードアレイのうちの１つ以上を含む、請求項１４に記載の装置。
【請求項１６】
前記表面フィーチャが、傾斜した、ピラミッド状、逆ピラミッド状、球状、正方形、長方形、三角形、放物線状、楕円体、非対称、対称、円錐、逆柱、逆円錐、マイクロレンズ、およびそれらの組み合わせからなる群から選択される部材を含む、請求項１３に記載の装置。
【請求項１７】
前記テクスチャ領域および前記マスク領域が、閉位置に移動するとき、前記表面フィーチャが、前記マスク領域内の前記透過開口部を通して視認可能ではなく、前記閉位置が、光軸に沿って互いに関して重ならない関係に対応する、請求項１２に記載の装置。
【請求項１８】
前記閉位置において、前記放射熱が、前記マスク領域内の前記透過開口部を通じて真っ直ぐ反射されて戻ることになる、請求項１７に記載の装置。
【請求項１９】
前記放出された放射熱が、赤外線電磁放射であり、画像を前記複写用紙上に印刷する前に、前記マスク領域が、前記定着器ロール上に真っ直ぐ反射して戻る初期位置にあり、画像を前記複写用紙上に印刷する間、前記マスク領域が、それが前記定着器ロールを通過する際、前記赤外線電磁放射線を前記複写用紙上に集中させる別の位置にある、請求項１２に記載の装置。
【請求項２０】
加圧ロールならびに内面および前記内面の反対側の外面を含む定着器ロールを備える、ゼログラフィ装置内の媒体上にトナーを定着させる方法であって、
電磁放射（ＥＥＭＲ）を放出するように適合された１つ以上の光源を有する放射加熱器を使用することにより、前記内面を直接加熱して、前記内面の反対側の前記定着器ロールの前記外面の温度を増加させるように、前記定着器ロールの前記内面を加熱することと、
基材に結合され、前記ＥＥＭＲと相互作用するように位置決めされたテクスチャ領域であって、前記ＥＥＭＲの一部のある角度での反射を容易にするようにサイズ決定され、位置決めされた表面フィーチャを含む、テクスチャ領域を使用することと、
前記テクスチャ領域と前記定着器ロールの前記外面との間に位置決めされた透過開口部を有するマスク領域であって、入射ＥＥＭＲが前記テクスチャ領域に接触する前に前記透過開口部を通過するように位置決めされている、マスク領域を使用することとによって、補助加熱のために前記放出された電磁放射線を取り入れることと、を含み、
前記ＥＥＭＲが、赤外線電磁放射線であり、画像を前記媒体上に印刷する前に、前記マスク領域が、前記定着器ロール上に真っ直ぐ反射して戻る第１の位置にある、方法。